

北野の風

岡崎市立北野小学校 令和2年度 学校通信 No.8 2月25日(木)

そのとき かめさんはど「」を見ていたのか

北野小学校長 丹羽 郁人

昔、昔、あるところにうさぎさんとかめさんが住んでいました。二人はとっても仲良しです。そして、毎日楽しく遊んでいました。

ある日のことです。うさぎさんは、かめさんに言いました。

「今日はかけっこをしよう。あの山の頂上まで競走だ。よいい、ドン。」

そう言うとうさぎさんは、勢いよく飛び出しました。速いこと速いこと。あっという間にかめさんを引き離して、もう追いつけないだろうという所まで走ってきました。

「かめさんはどこを走っているのかな。まだあんなところだ。これじゃ絶対に追いつかれないな。一休みするか。」
そう言うとうさぎさん、道端に寝転がって、ぐっすり眠ってしまいました。

「ぐう、ぐう」(寝ているうさぎさんのいびきの音)

「よいしょ、よいしょ。」(ゴールを指しているかめさんの声)

うさぎさんが目を覚ましたころには、もうかめさんは頂上にたどり着いていました。

この話は、過信(自信過剰)して思い上がり油断をすると物事を逃してしまふ。また、歩みが遅くとも、脇道にそれず、着実に真つ直ぐ進むことで、最終的に大きな成果を得ることができるということを教えてくれる。

うさぎさん、いくら力があっても、油断してはいけませんね。

かめさん、あきらめないで頑張れば、最後には結果が得られるね。

そして、私はこんなことも思う。うさぎさんとかめさんは、いったいどこを見ていたのか、と。

競走の途中でうさぎさんは休憩をした。その時、うさぎさんは後ろを振り返り、どんどん離れていくかめさんを見ている。それに対してかめさんが見ているのは、前。目指すところを見ている。かめさんは、目標を見ていた。

「ゴール」だけ見て頑張ったのがかめさん。 競争相手のかめさんを見ていたのがうさぎさん。

「目標」だけ見ていたのがかめさん。 「目標」がかすんでしまったのがうさぎさん。

何かをするとき、何かを頑張るとき、何かを成し遂げるとき、大切なのは「目標」をもつこと。そして、それを見失わずに、持てる力、蓄えた力を尽くすこと。

新しい年を迎え、新しい学期を迎え、北野小学校の子供たちは目標を立てた。

そして、今、その「目標」に向け、一歩一歩、着実に歩み続ける北野の子がいる。

我々は、その子たちを認め、支え、時にはそつと背中を押す存在でありたい。

時には寄り添い、時には向き合い、時には委ね任せる、そんな存在でありたい。

そう、北野小学校の教職員は、事実そんな人たちである。



縄跳び大会

一年生



がんばったなわとび大かい

一年三組 杉山 侑慎

ぼくたちは、なわとび大かいを、みんなががんばりました。さいしょは二十七かいだったけど、本番では百六十五かいもとべました。みんなでれんぞくでとんだから、しんきろくが出たとおもいました。

ぼくも、はじめはれんぞくとびがでなかつたけど、れんしゅうをがんばったらとべるようになった。



できるようになって、とてもうれしかったです。

けっか、トロフィーはとれなかったけど、みんなががんばってのしかなかったです。二年生では、トロフィーをとりたいたいです。

二年生



たてわりゆうしよう

二年一組 松下 ひゆみ

わたしは、なわとび大会で学年で一いではなかつたけれど、たてわりで一いだったので、よかったです。

みんなで力を合わせて、本番はやったので、くやしかったけれど楽しかったです。なかよしタイムにも、



みんなで声をかけ合いながられんしゅうしました。そのかいがあったと、思うことができました。

三年生になったら、新しいクラスのなかまともががんばって、一いになりたいです。そして、たてわりでも、ゆうしようしたいです。

三年生



クラスのカ

三年一組 池田 明莉

わたしは今までの練習では、こわくてれんぞくで入ることができませんでした。

でもなわとび大会では、れんぞくでとべました。こわかったけど、まわりのみんなが、「行けっ!」と言ってくれたので、とべました。

先生もリズムを合わせてくれて、れんぞくでとぶことができました。

うれしいです。二回さで、ゆう勝はできなかつたけど、みんなで力を合わせてとんで、スマイル百パーセントになったのでよかったです。



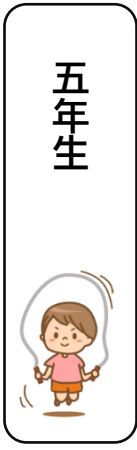
四年生



悔しかった縄跳び大会

四年三組 権田 心春

私は、学級代表として大会に向けての学級会を開きました。決まった学級目標は、声を出して仲を深めることと、二五〇回跳ぶこ



五年生

来年の縄跳び大会では、優勝できるように今年以上にがんばりたいです。



とです。声かけの練習をしたり、放課は大縄の練習をしたりして、目標に向かってクラスの皆でがんばりました。

大会では、皆さんちようして声が出ないかと思っていたけれど、練習よりもしっかりと声を出すことができました。結果は優勝できなくて悔しかったけれど、皆が声をかけ合っていて仲が深まったことはうれしかったです。

ベストをつくしたなわとび大会

五年二組 森田 花梨

なわとび大会が行われ、全学年ベストをつくすために今まで練習してきました。

五年二組は初めて練習したとき、あまり良い結果ではありませんでした。けれど、心をみんなですてし、練習を重ねていくと、だんだん回数も増え、目標の三百回をこえることができました。

本番ではみんな集中して、練習ではとべなかった速さでとべていて、より心が一つにな

っていると感じました。結果は全員の練習の成果が出て、ベストをつくせたので良かったです。来年は校内記録をこえたいです。



六年生

やってみるか

六年一組 山口 桃佳

私は縄跳び大会で、初めて縄を回す人になりました。初めは、「やってみるか。」みたい



教室に帰ったら、「縄回し感謝の会」があり、とてもびつくりしました。友達から手紙をもらい、私は泣いてしまいました。今まで本当にがんばってよかったなと思いました。

みるか。」みたいな気持ちで立候補していました。そうしたら、だんだんやる気が出てきて、今まで声を出していなかった私が、声を出すようにまくなりました。本番をむかえ、私はとてもドキドキしていました。縄を回しているとき、声を出し、ひざを曲げてすくそう思いながら回しましたが、二九五回で三〇〇回にもならず、優勝はできたものの、とてもくやしかったです。



縄跳び大会の記録

	1組	2組	3組
1年	104+ 79=183	🏆 196+170=366	165+143=308
2年	123+118=241	85+ 90=175	🏆 126+138=264
3年	211+175=386	113+102=215	🏆 213+175=388
4年	204+295=499	🏆 258+270=528	215+241=456
5年	🏆 338+347=685	334+317=651	287+267=554
6年	🏆 352+295=647	296+300=596	280+304=584
縦割賞	🏆 13点	12点	11点

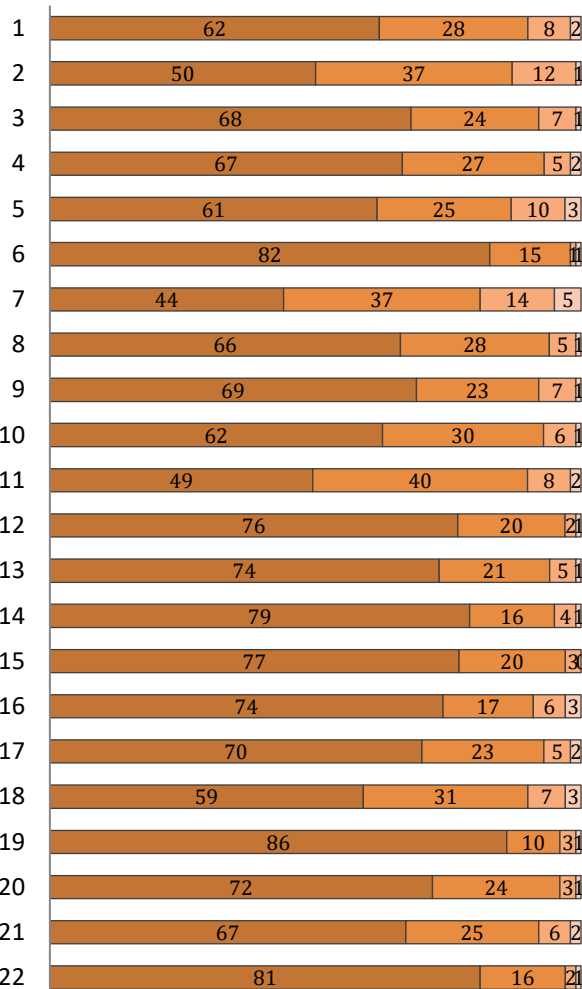
二月十二日、縄跳び大会。それぞれの子に、それぞれの学級に、さまざまなドラマがあつて、この日を迎えました。笑顔の子にも、涙の学級にも、全力で取り組んできた分の成長がありました。保護者の皆様には、緊急事態宣言の発令による非公開へのご協力をいただき、ありがとうございました。

学校教育診断票(児童)の結果

調査対象 全校児童 R2年12月実施

■よくあてはまる
 ■ややあてはまる
 ■あまりあてはまらない
 ■まったくあてはまらない

No.	診断内容
1	学校へ行くことが楽しい。
2	あいさつや返事がよくでき、明るく生活している。
3	学校の行事に楽しく参加している。[学年別体育授業公開・持久走大会など]
4	委員会活動や、委員会が行う活動や行事に、楽しく進んで協力しながら参加している。
5	授業や行事などで、地域の人からいろいろ教えてもらえる。
6	好きな授業があり、楽しく学習している。
7	答えが分かった時は、進んで自分の意見や感想などを発表している。
8	授業では、友達と話し合っ、課題や問題に取り組んでいる。
9	英語の授業や英語活動(担任の先生による学習や英語タイム)は楽しい。
10	「生活科」や「総合」では、自分の課題を決めて、友達と関わり合いながら学んでいる。
11	「北野タイム」では、「話す力」「聞く力」「計算力」をつけることができている。
12	分からない問題や内容があるときは、先生は一人一人に教えてくれている。
13	心や体の健康について、すすくタイムなどでよく学ぶことができる。
14	読書の時間や読み聞かせの時間は楽しい。
15	道徳や学級の時間などを通して、命の大切さを学んでいる。
16	部活動は楽しく、自分なりの目標を決めてがんばっている(がんばった)。[参加者のみ]
17	通知表は、自分の学習や生活の努力をよく表している。
18	学級に問題やいじめがあれば、みんなで話し合ったり考えたりしながら解決している。
19	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる。
20	学級の係活動などに責任をもって取り組んでいる。
21	校長先生の話は分かりやすく、親しみがある。
22	わたしたちの気持ちや考え、がんばりを分かってくれる先生がいる。



診断票の結果について

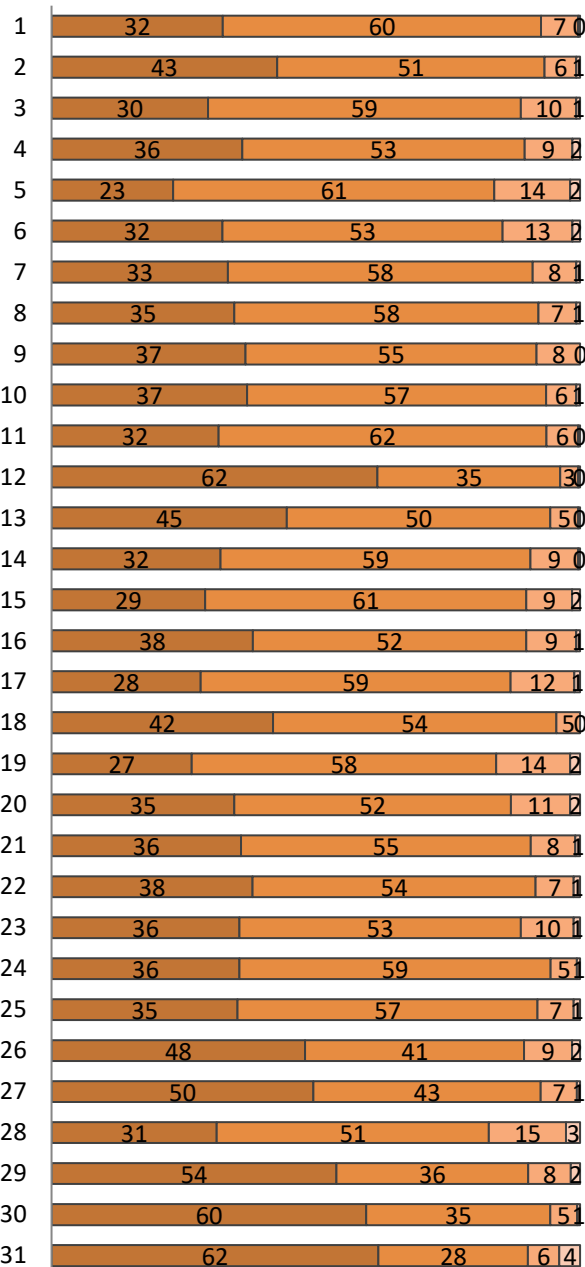
- ・それぞれの項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的にとらえている児童がほとんどであり、肯定的評価が90%を超えている項目は22項目中18項目でした。
- ・12月に開催した北野小「学校評議委員会」では、参加した企画委員会の児童からも、学校評議員の方々からも、あいさつを活発にしたいという指摘がありました。「**2 あいさつや返事がよくでき、明るく生活している**」の肯定的評価が87%とやや低く、この指摘を裏付ける結果となりました。あいさつや返事は、よりよい人間関係を築き、社会生活を営む上で欠かせない「生きる力」です。あいさつの盛んな学校・地域を目指して、家庭や地域の力もお借りしながら、子供たちとともに取り組んでいきます。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応により、これまで学校であたりまえに行われていた様々な活動や行事の見直しと縮減が迫られました。例年、肯定的評価が90%を超えている「**5 授業や行事などで、地域の人からいろいろ教えてもらえる**」の結果がやや低くなったことには、その影響がうかがわれます。今後も、感染症拡大防止への適切な取り組みを図りながら、各活動や行事を検討していきます。子供たちが、ふるさと「北野」を愛し、誇りに思えるように、地域の方々からの学びを大切にしていきます。
- ・「**6 好きな授業があり、楽しく学習している**」、「**8 授業では、友達と話し合っ、課題や問題に取り組んでいる**」の肯定的評価がともに90%を超える好結果であるなか、「**7 答えが分かった時は、進んで自分の意見や感想などを発表している**」は81%とやや低い結果となりました。子供たちの多くは、学習に前向きに、友達と協働しながら取り組んでいるが、自ら発信する力にはまだまだ伸びしろがあるようです。安心して過ごせ気兼ねなく発言できる学級づくりと授業改善をいっそう進め、子供たちの「話す力」を高めていきます。
(教頭 尾野)

学校教育診断票(保護者)の結果

調査対象 保護者 R2年12月実施

当てはまる やや当てはまる
 あまり当てはまらない まったく当てはまらない

No.	診断内容
1	学校は、ホームページや学校新聞等で、教育目標・教育方針を分かりやすく知らせている。
2	学校は、ホームページや学校新聞等で、教育活動に関する情報を積極的に伝えている。
3	学校は、保護者・地域の要望や願いに応えようと努力している。
4	朝の学習(北野タイム)で、「読み・書き・計算」の学力の定着を図っている。
5	算数では、ティームティーチングによる学習を通して、できる喜びを感じる授業の工夫をしている。
6	英語の授業や英語活動を通して、子供が英語に親しむことができるよう工夫をしている。
7	学校から出される通知表の評価は、納得のいくものになっている。
8	学校は、読書(読み聞かせも含めて)を重視し、豊かな心を育もうとしている。
9	学校は、各教科、生活科・総合的な学習の時間などを通して、体験学習や見学の機会を多く設けている。
10	学校は、「すくすくタイム」などで、心や体の健康について考える機会を大切にしている。
11	学校は、規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている。
12	学校は、子供の安全について地域と協力しながら努力している。
13	学校は、ボランティア教育(学区美化活動・資源回収など)に力を入れている。
14	学校は、地震や風水害の場合の対応について、子供や保護者に分かりやすく伝えている。
15	学校は、施設・設備の充実に努め、それを有効に活用している。
16	学校は、学校開放日や授業参観等を通して学校の様子がよく分かるようにしている。
17	学校のPTA活動は活発で充実している。
18	学校の教育活動に、地域の人たちや保護者がボランティアとして積極的に参加している。
19	校長は、学校経営についてリーダーシップをよく発揮している。
20	先生たちは、一人一人にきめ細やかな指導を工夫している。
21	先生たちは、子供の能力や意欲を適切に判断し、認めている。
22	先生たちは、子供のまちがった行動を適切に指導している。
23	先生たちは、いじめや問題行動に対して真剣に動いている。
24	先生たちは、道徳や学級の時間を重視し、豊かな心や生命を大切にする心を育てようとしている。
25	先生たちは、子供の気持ちをよく理解し、人権を尊重している。
26	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。
27	子供は、好きな授業があり、楽しく学習していると感じている。
28	子供のことについて、気軽に先生たちに相談できる。
29	子供は、学校に信頼できる友達がいると感じている。
30	子供は、学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。
31	子供は、部活動に積極的に参加している(していた)。(4年生以上の参加児童のみ)



診断票の結果について

・それぞれの項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が90%を超えている項目は、31項目中21項目でした。概ね肯定的に評価していただけていることに感謝申し上げますとともに、ご指摘いただいた点を真摯に受け止め、なおいっそうの努力を続けてまいります。

・肯定的評価がいちばん低かったのは、「**28 子供のことについて、気軽に先生たちに相談できる**」で、83%でした。毎年課題になっている項目ではありますが、今年度は新型コロナウイルス感染症への対応のなか、家庭訪問・1学期個別懇談会などの行事を縮減し、結果として保護者の皆様と接する機会を大きく減らしてしまい、申し訳ございませんでした。今後も各家庭との連携を重視し、保護者の皆様のご要望やご心配なことに関して素早く対応し、ご期待に応えられるように努めてまいります。

・昨年度と比べ、最も肯定的評価の割合が下がってしまったのは、「**17 学校のPTA活動は活発で充実している**」でした。(98→87%)これも、新型コロナウイルス感染症への対応による活動の縮減が影響したと考えます。従来通りではなく、新しい生活様式や新しい時代に対応した、持続可能なPTA活動を模索していきます。
(教頭 尾野)

表彰の記録



《市理科作品展 入選》

「ソーラーパワーをつかまえる！」

三年 日下部創

「音が大きくなる方法」

四年 岩山小夏

「どんな汚れが落ちにくい？」

五年 鈴木啓斗

「植木にやさしい水やり時間」

六年 今村勇太

《市社会科作品展 入選》

「お金の作られ年と千円のふしぎ」

三年 松井美佳

「ぼくの考えた山名城」

五年 日下部空

《市家庭科作品展 入選》

六年 坂之下由愛 高杉莉乃

永田琴音 溝口結愛

加藤菜々美 田中咲幸

西川梓 山下唯華

植田舜 松山大悟

山本凌平 中川日葵

《市読書感想文コンクール 入選》

一年 神谷壮亮 上山遥也

二年 蟹実莉 浅見美咲

久田響司

三年 日下部創 藏地瑛太

宮内結菜

四年 浅野健太郎 佐藤里穂

五年 川久保洸亮 畠山莉緒

上山愛恵

六年 今村勇太 藏地文瑠

《市読書感想画コンクール 入選》

一年 黄原大炫 佐藤璃奈

二年 池吉優羽 穴井陽菜乃

三年 石丸祐輝 太田恵

田中拓翔

四年 西平莉奈 雨無由莉

野口陽

五年 鈴木啓斗 高柳美沙

六年 池田蒼真 鷺見心花

梅田知穂

《人権作品コンクール 標語の部》

県入選 六年 宮崎蒼平

「僕たちは 助け合うから 輝ける」

市奨励賞 六年 仲座芹

《市作文コンクール》

優秀賞 二年 穴井陽菜乃

四年 及川清花

佳作 二年 荒田遥花

藤波蓮誓

三年 日下部友梨

原田珠里

五年 濱來実

六年 天近凜音

日恵野寿音

《市書き初め展 入選》

一年 神谷壮亮 大見莉乃

清水喜心 山本幸来

杉山侑慎 白柳優衣

二年 明利遥琉 岸本あやめ

浅見美咲 本田唯華

穴井陽菜乃 永田妃

三年 日下部創 日下部友梨

黄原麻理 平田莉亜

前田望来 山本彩生

四年 杉山涼 荒井優

神谷紗良 杉山奈優

内田琶子 佐々木真歩

五年 保田旬依里 山田蒼依

上山愛恵 坂下恵麻

高山結愛 本田悠華

六年 鈴木惺大 古田景香

成瀬朝希 山下唯華

藏地文瑠 富森菜奈子



行事予定

一日	(月)	⑥クラブ【最終】
二日	(火)	きらきら(低)
三日	(水)	⑤感謝の会
四日	(木)	きらきら(中・567組)
五日	(金)	きらきら(高) 一斉下校
六日	(土)	通学班班長・副班長交代の式
七日	(日)	すくすくタイム
八日	(月)	⑥委員会【最終】
九日	(火)	⑤卒業を祝う会
十日	(水)	⑤大掃除・ワックスがけ
十一日	(木)	⑤同窓会入会式
十二日	(金)	一斉下校
十三日	(土)	②③卒業式予行
十四日	(日)	⑤⑥卒業式準備
十五日	(月)	⑤⑥卒業式
十六日	(火)	一斉下校
十七日	(水)	お別れ会 卒業式
十八日	(木)	一斉下校九時
十九日	(金)	一斉下校
二十日	(土)	給食終了
二十一日	(日)	修了式
二十二日	(月)	一斉下校
二十三日	(火)	一斉下校
二十四日	(水)	一斉下校
二十五日	(木)	春休み